

回転サンプルチェンジャーの手順書 スタッフ向け

1. セットアップ

- 回転サンプルチェンジャー一式は、以下の写真のラックに保管されています。BL-10C 及び BL-15A2 の回転サンプルチェンジャー本体とサンプルステージは、共通で使用しています。



BL-6A



BL-10C

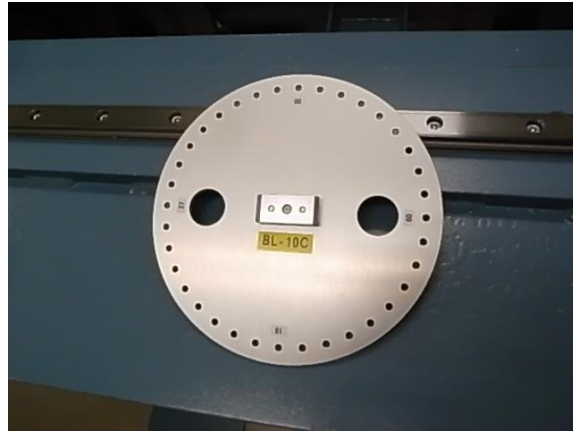


BL-15A2

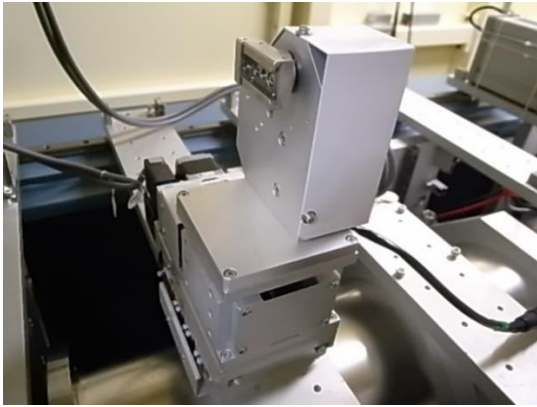
- 一式には以下の物品が含まれます。

	BL-6A	BL-10C	BL-15A2
モーターケーブル	1 本	1 本	1 本
電源ケーブル	1 本	1 本	1 本
SC-210 モーターコントローラ	1 台	1 台	1 台
回転サンプルチェンジャー本体	1 台	1 台	10C と共通
円盤	3 枚	3 枚	10C と共通

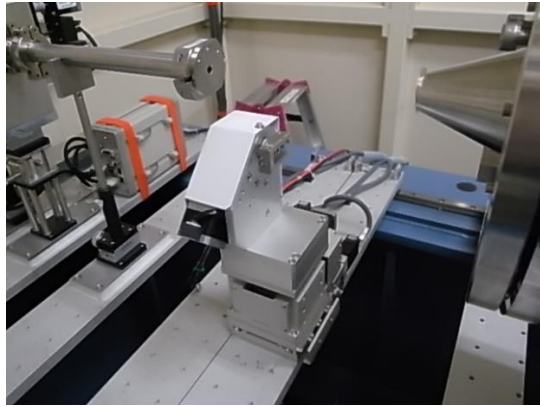
- 円盤を以下の写真に示します。サンプルはテープなどで固定します。



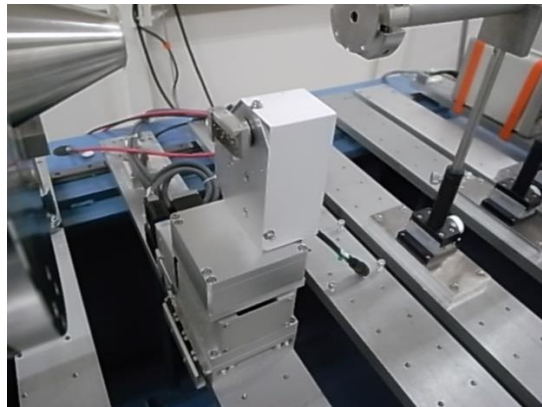
・回転サンプルチェンジャー本体は、ラボジャッキ用プレートを外して、神津ステージに直接ねじ止めします。以下の写真のようにモーターが付いている側が、試料より上流側になります。



BL-6A



BL-10C

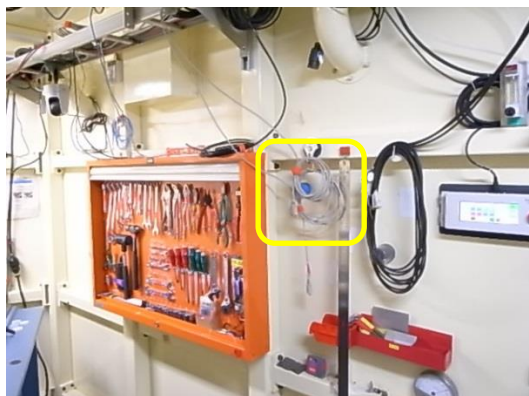


BL-15A2

・円盤の交換に支障がないよう、イオンチャンバー及びノーズとの間隔を取ってかつ、ユーザーさんに確認してください。

・SC210 モーターコントローラに接続するRS-232C ケーブルは、実験ハッチ内の上流側のラダ

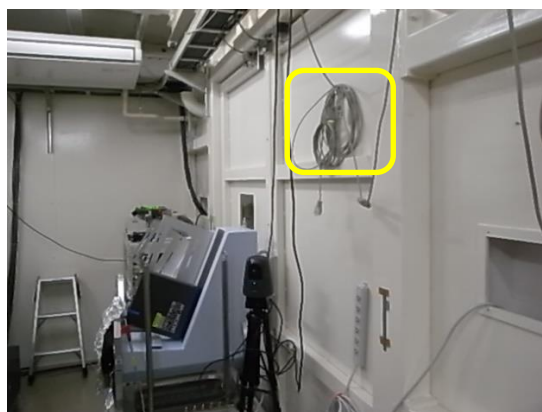
一から下がっています。BL-6A では BL-7 側、BL-10C では BL-9 側、BL-15A2 では BL-16 側にあります。該当する RS-232C ケーブルを SC210 モーターコントローラに接続します。同じ場所に GI 用ステージのケーブルもあるので、ラベルを確認してください。



BL-6A



BL-10C

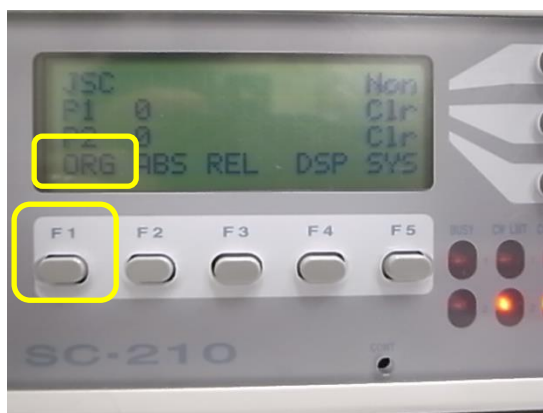


BL-15A2

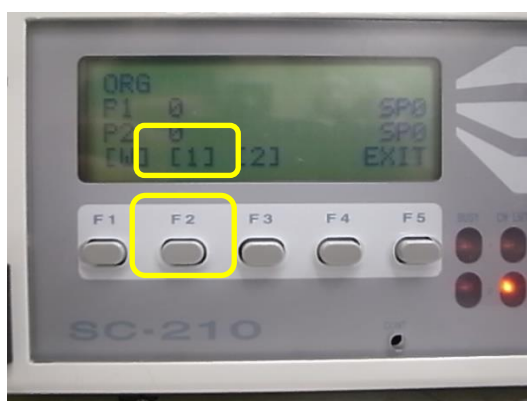
・回転サンプルチェンジャー本体と SC210 モーターコントローラの PM1 をモーターケーブルで、電源を電源ケーブルで接続します。



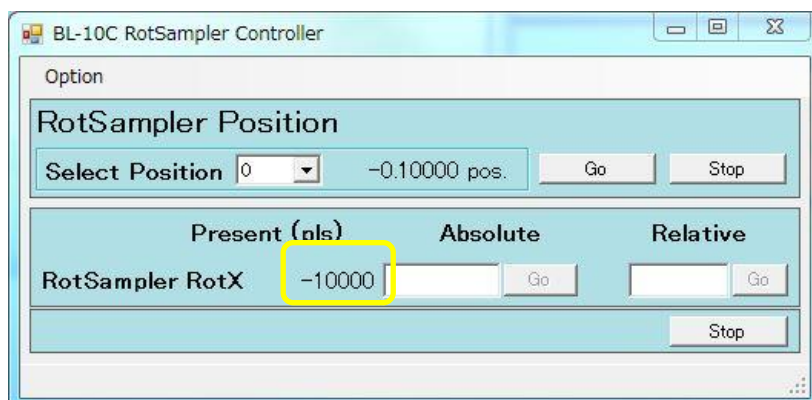
- SC210 の電源を入れます。
- 起動したら、SC210 モーターコントローラの ORG (F1)キーを押して ORG 画面に切り替えます。



- F2[1]キーを押して、CH1 を Datum します。

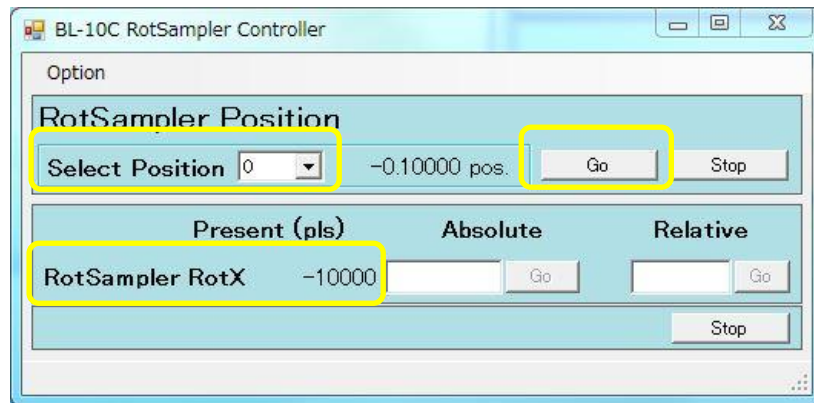


- Datum 動作が完了すると、Datum 位置が、BL-6A 及び BL-15A2 では「0」に、BL-10C では「-10000」にセットされます。



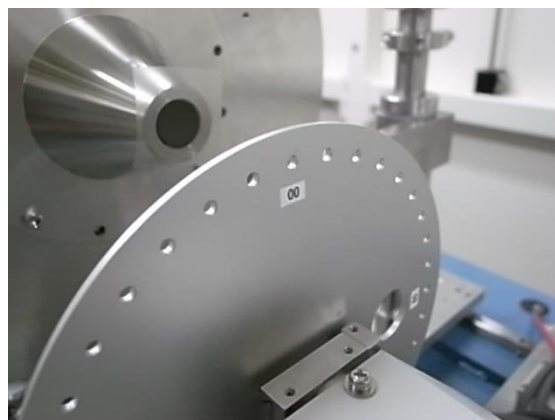
BL-10C の例

- BL-10C のみ、ハッチ外コントロール PC にて RotSampler Controller の GUI で Rot Sampler RotX の軸が「-10000」と表示されています。Selece Position から 0 を選択して、Go を押してください。ステージが回転して、パルスが 0 の位置に来ます。



BL-10C の例

- サンプルステージをセットするときは、「00 番」が一番上に来るようにします。円盤をしっかりと奥に当たるまで差し込んでください。
- Datum を行って、レーザーが 00 番の穴を通過するか確認してください。通過しない場合は、設置の状態が正しいか確認のうえ、Sample stage の Ver.軸と Hor.軸を調整してください。
- ビームの調整時には、00 番の穴を使って穴センターの位置を、Sample stage の Ver.軸と Hor.軸でスキャンして調整してください。00 番の位置で調整すれば、他の穴の位置は調整されていることになります。



2. 終了

- ハッチ外コントロール PC にて Stage Controller の GUI で Rot Sampler に 0 を入力してください。
- サンプルステージを回転サンプルチェンジャーから外してください。

- SC210 モーターコントローラの電源を切って、ケーブル類を外してください。
- 元のブラケース又はラックへ格納して終了となります。

3. 円盤が途中で動かなくなった場合

- ユーザー向け手順書を参照してください。